

Hospital Information

脳神経外科における頸椎椎間板ヘルニアの治療方針について



脳神経外科 部長  
森本 哲也

椎間板ヘルニアとは、図1のように椎間板が突出して脊髄や神経根を圧迫するために、痛みやしびれ、あるいは筋力低下を来す疾患である。患者さまにとってこれらが非常に苦痛であるか、日常生活、仕事に差し支えがある場合は、手術の適応となる。一般的に頸椎の手術は危険であり、完全には治らないということで、患者さまのみならず、医師の間でも敬遠されることが多い。

この一因は、正確な部位診断が必ずしも容易でないこと、手術入院が長いことがいままでの通念であったためである。

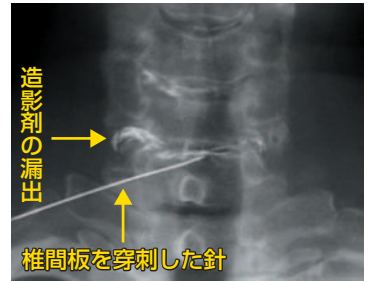
当院脳神経外科では、正確な部位診断のために「椎間板造影」という特殊検査を施行している。図2に示すように、局所麻酔で細い針を椎間板に挿入し、造影するものである。造影剤注入時にいつもの症状が誘発されれば、その部位が症状発現部位にほぼ間違いない。また、CTによって造影剤の漏出範囲の同定も可能である(図3)。

手術は、全身麻酔で頸部に約4cmの皮膚切開を入れるだけである。所要時間は1時間10分程度。術後は翌日から歩行もトイレも可能であり、1週間で退院できる。図4に術後の頸椎レントゲンを示すが、チタン製の人工椎間板が入っている。

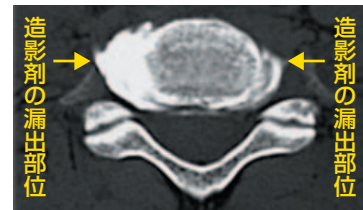
神経に関係する疾患は決して治療困難なものではない。現代の最新医療によって患者さまに満足していただける外科治療のひとつである。一度、外来で相談してください。



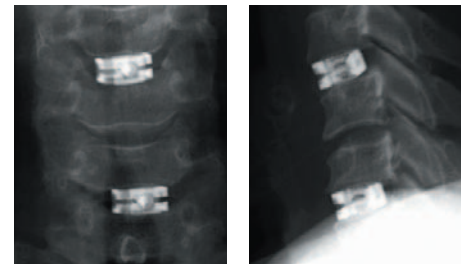
【図1】頸椎MRI



【図2】椎間板造影



【図3】椎間板造影後CT



【図4】術後頸椎レントゲン

チタン製の人工椎間板がC4-5とC6-7の2ヶ所に入っている

健康わんぼいんとレッスン

1 Point Lesson

脳卒中の治療  
とくに血管内治療について



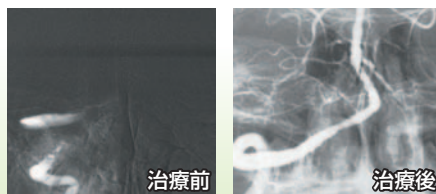
脳神経外科 副部長  
越前 直樹

最近の有名人の報道例を出すまでもなく、脳神経疾患の中でも脳卒中は一瞬にして状態を変えてしまう重大な疾患です。大阪けいさつ病院脳神経外科ではこれらの疾患に対して積極的治療を行っています。

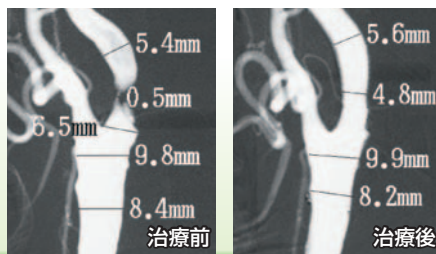
治療としては薬中心の内科的治療以外に、外科的に手術を行う治療(外科治療)や、カテーテルという細い管を血管の中を通して脳へ導き治療する新しい治療(血管内治療)も取り入れ最新医療を患者さまに提供しています。特にこの血管内治療は今まで治療できなかった超急性期の治療や全身状態不良な患者さまにも応用され成果をあげています。

脳卒中には大きく分けて脳の中に出血する病気と血管が詰まる病気があります。当院での治療の実例をお示ししましょう。

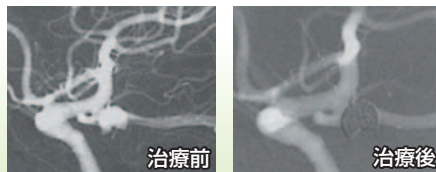
1 大きな脳の血管が詰まってしまった脳塞栓症では発症直後であれば、脳内にまでカテーテルを導き血管の再開通をおこないます。成功すれば劇的に症状が改善します。写真では途絶えた血管が再び脳へ血流を再開しているのが分かります。



2 糖尿病や喫煙などで頸動脈が高度に狭くなっている患者さまです。通常外科手術で血管内部をきれいにする治療をしますが全身状態が良くない人や高齢者には風船でこの部を押し広げ、さらにステントといわれる金属の筒をいれ病変部を拡張させます。写真で良好に血管が拡張しているのが分かります。



3 一旦発症すると極めて予後不良なくも膜下出血をおこす脳動脈瘤の患者さまです。外科手術で動脈瘤を完全に処置することが出来ればよいのですが手術困難な方にはコイルで動脈瘤内部を詰めてしまう方法も用いられています。



以上、多彩な治療法が進歩してきています。

個々の患者さまにそれぞれに応じた適切な治療法を提供しておりますので、まずご相談ください。



大阪けいさつ病院  
理念

人々の健康と幸せのために、人権を尊重しつつ「愛・熱・和」の精神をもって質の高い医療を提供します。

基本方針

患者さまの権利と義務

大阪けいさつ病院は、患者の皆さま中心に質の高い医療を提供するため、次のことをめざします。  
【人権】患者の皆さまの基本的な人権を尊重し、平等に医療を受けられるよう配慮します。  
【医療の質】急性期病院として、安全かつ高度な医療を実践し、皆さまの満足を得られるよう努力します。  
【地域への役割】地域の中核病院として、他の医療機関との連携を高め、住民の皆さまの健康を守ります。  
【職員の行動指針】患者さまのため医の倫理を尊重し、常に自己研鑽し、誠意を持って行動します。

大阪けいさつ病院は、理念と基本方針を実践するため、ここに「権利と義務」の規範を掲げます。

1. 個人の尊厳及びプライバシーが守られること。
2. 平等かつ最善の医療が受けられること。
3. 自己の病気や治療に関する情報を知り、十分な説明を受け、自ら決定すること。
4. 最善の治療を受けるため、関連する自己の情報を提供していただくこと。
5. 他の患者の皆さまの療養生活を脅かさないよう配慮していただくこと。



脳神経外科

脳神経外科というと少し物々しく聞こえますが、扱う疾患は決して難しい病気がばかりではありません。脳神経外科は極めて多岐にわたる疾患を対象としています。また、その扱う症状は様々で、めまいはもとより腰痛、頭痛、痺れ、言語障害、麻痺など枚挙にいとまがありません。脳腫瘍、くも膜下出血、頭部外傷以外にもいろいろ患者さまが日々訪れます。要は、神経に關係するありとあらゆる症状に対して診断し、よきコンサルタントとして情報提供と診断治療をおこなう診療科です。大阪けいさつ病院は急性期病院ですので、入院できる患者さまは限られます。つまり、手術が必要な患者さまに限定されます。また、すべての手術の入院期間は非常に短く、たとえば脳動脈瘤の開頭術の在院日数は14日です。頸椎ヘルニアの固定術では10日です。

脳神経外科の医師、看護師、事務員すべて親切、やさしくをモットーにがんばっていますので、どうか心配せずにわれわれを訪ねてください。早期発見、早期治療が大切です。長寿国、日本で健康に生活するために脳神経外科は欠かせないものです。私たちにできることはすべて実行します。



脳神経外科 部長 森本 哲也

病気と栄養

脳卒中予防のための食事

脳卒中を予防するには毎日の生活に注意して、血圧、コレステロール、血糖値を常に正常範囲にコントロールすることが大切です。

- ① 塩分を減らしましょう  
塩分制限は、脳卒中中の危険因子である高血圧を予防するポイントです。
- ② 暴飲暴食はやめましょう  
肥満を予防改善し、脳卒中中の危険リスクを軽減します。
- ③ 動物性脂肪を少なめにしましょう  
肉類などの動物性脂肪やコレステロールが多い食品の過剰摂取を避け、青魚や植物性油を適量とるようにします。
- ④ 偏食はやめましょう  
主食(炭水化物)、主菜(たんぱく質)、副菜(ビタミン、ミネラル)を揃え、各種栄養素をバランスよくとります。
- ⑤ カリウムを含む食品(野菜類やくだもの類)をとりましょう  
カリウムには、血圧上昇に関連するナトリウムの排泄を促す作用があります。(腎疾患がある方は、カリウム制限が必要な場合がありますので、主治医にご相談ください)
- ⑥ 規則正しく食事をしましょう  
食事時間を守り、3食きちんとゆつくりよく噛んで食べることは、健康な食習慣の基本です。

栄養管理課 西尾 勢津子

皆さまからの便り

クリスマスコンサートについて

先日は素晴らしいコンサートをありがとうございました。  
私は外来患者ですが、友達を誘って聴きにきました。二人ともつい最近ここで入院したこともあります。  
いつものホールがイスも並べ換えられて、楽しいあたたかい雰囲気になっていました。  
クリスマスコンサートなのにクリスマスソングが一曲もなかったですが、患者さんが歌えるようにとの思いが伝わり、優しい心配りだと思いました。  
「川の流れるように」を歌っていたら友達が泣き出し、私も涙がこぼれて歌えなくなってしまいました。  
こうして元気で楽しく歌えるのも病院の先生をはじめ看護師さん、スタッフの皆さんのおかげです。  
素晴らしい感動をありがとうございました。今度は奇席などもして頂けたらうれしいです。

投稿の募集 (皆さまからのご意見・ご質問等)

メールでのご連絡はこちらまで  
master@oph.gr.jp

※病状の詳細につきましてはメールでは誤解が生じる場合がございますので直接ご来院の上ご相談くださいませ。

TOPICS & NEWS

医療費改正 (患者さまへの影響)

医事第一課

平成16年4月に2年に1度の診療報酬の改定が行われました。今回の改定における主要項目のひとつとして、患者さまに対する情報公開があげられます。これからは病院が患者さまを選び、病院が治療方法を決めるのではなく患者さまが病院を選び、患者さま自らが治療方法を決めて頂くようにして行こうという表われだと思えます。改定の中で「手術件数の掲示」、「手術の内容等の詳細な説明」が義務付けられました。当院も基準で定められた手術の件数を入院センター横に掲示しておりますので是非、御参考にしてください。

年々、医療財政が厳しくなる中、患者さまにとって負担が増加し、尚且つ複雑な料金体系となり医療費が理解しにくくなっております。今後とも患者さまのご負担料金の事につきまして私どもがしっかりと勉強し、患者さまに解かりやすくご説明できるよう努力してまいりたいと思えます。もし、ご不明な点があれば気軽にご相談くださいませ。

大相撲新弟子検査

医事第二課

今年も春恒例の大相撲新弟子検査が3月6日(土)に当院で行われました。桜の舞う季節に、今回は失格者ゼロ、受験者全77名が華々しく相撲道の世界に足を踏み入れました。未来の大横綱を目指しての最初の一步です。天高く翔いてほしいものです。



ロビーには彫刻家、山口伊之助氏の作品が展示されました。大相撲大阪場所東西会元会長の中村広三氏のご好意により春場所に際し展示しております。来年もぜひご覧ください。



サマーコンサートのお知らせ

7月17日(土)午後3時より当院の玄関ホールにおいて『サマーコンサート』が開催されます。暑い夏にふさわしく「ハワイアン」をテーマに予定しています。参加はご自由ですのでぜひお越しください。

連携医院のご紹介

榊原 哲夫 医師

このたび18年間お世話になりました大阪けいさつ病院を辞し、天王寺区大道で開業致しました。同時にけいさつ病院OBによる連携医にさせていただきました。けいさつ病院の名に恥じない連携医としてレベルの高い開業医になるべく精進したいと思います。勤務医時代に比べ、きめの細かい密度の高い外来治療をすること、狭い専門分野にとらわれず、幅広い視野で総合的に診療することが目標です。

一方けいさつ病院にお願いすることの第一は、入院が必要な重症な患者さまを常に迅速に受け入れてもらうこと。第二は医療の質を高め短期間の入院で良好な成績の治療をしてもらうこととあります。そのためには医療レベルの向上とともに各科のスムーズな連携体制の構築が重要であると思えます。

けいさつ病院とそれを取り巻く連携医は、それぞれのレベルの向上を図ると共に、連携を密にして患者さまがたに絶対的に信頼してもらえる医療集団を形成すべきであると思えます。



榊原クリニック

- ・循環器科
- ・内科
- ・心臓血管外科
- ・リハビリテーション科

天王寺区大道3丁目5-10-101  
電話 / 06-6776-0160  
JR天王寺駅から徒歩7分  
JR寺田町駅から徒歩5分

編集後記

今回は、脳神経外科の特集号といった感じです。難しそうな病気についてわかりやすく解説していただきましたがいかがでしたか。連携医院のご紹介は、3月まで勤務されておられた榊原先生です。当院は近隣の開業医の先生方とも密接に連携を取りながら、患者さまに質の高い医療を提供しています。今後も先生方を順次ご紹介したいと思います。

小児科 部長 西垣 敏紀

